

2005年度 第3回

防火本委員会議事録（案）

記録担当 事務局

- A. 日時 2005年12月16日（金） 15:00～17:00
B. 場所 建築会館会議室
C. 出席者 委員長 室崎益輝
幹事 上原茂男
委員 池田憲一 佐藤博臣 関沢 愛 萩原一郎 北後明彦
松下敬幸 森山修治 山田常圭 吉田正友
(敬称略、順不同)
(事務局)

D. 提出資料

- 資料No.3-1 2005年度大会概要報告
資料No.3-2 2005年度大会学術講演会司会者アンケート結果
資料No.3-3 2004年度の出版物販売状況
資料No.3-4 2004年度講習会・シンポジウム等開催結果
資料No.3-5 2005年度委員会活動報告会の方法および日程について
資料No.3-6 2006年度予算配分
資料No.3-7 2006年度国際交流振興基金援助事業申請について
資料No.3-8 日本建築学会での地震防災研究10年の歩み報告
資料No.3-9 2005年度大会発表梗概の取り下げ・削除申請
資料No.3-10 2005年度特別研究委員会テーマ選考結果
資料No.3-11 小委員会活動成果報告提出依頼
資料No.3-12 研究助成候補の推薦（鹿島学術振興財団研究助成）
資料No.3-13 2006年度委員会活動計画案・刊行企画・催し物企画（案）
資料No.3-14 予算執行状況
資料No.3-15 大会準備日程（案）
資料No.3-16 2006年度学術講演会研究発表梗概募集要領
資料No.3-17 2006年度オーガナイズドセッションテーマ
資料No.3-18 2006年度研究集会の企画案
資料No.3-19 2006年日本建築学会大賞業績候補の推薦
資料No.3-20 2006年日本建築学会文化賞候補業績の推薦（別途資料有）
資料No.3-21 2007年学会賞選考委員会委員（論文部会）候補の推薦
資料No.3-22 2007年日本建築学会奨励賞選考委員会委員候補の推薦
資料No.3-23 シンポジウムについて

* 前回議事録の確認

前回議事録について出席委員名の修正があり承認された。

1. 2005年度大会概要報告（資料No.3-1）

標記の概要報告があった。

2. **2005 年度大会学術講演会司会者アンケート結果 (資料No.3-2)**
大会司会者のアンケート調査結果が報告された。
3. **2004 年度の出版物販売状況 (資料No.3-3)**
各委員会から刊行された直営出版物発行部数、販売部数が報告された。
4. **2004 年度講習会・シンポジウム等開催結果 (資料No.3-4)**
2004 年度に開催した講習会、シンポジウムの実施結果が報告された。
5. **2005 年度委員会活動報告会の方法および日程について (資料No.3-5)**
常置研究委員会の委員会活動報告会の開催日程が決定した。防火委員会は 2007 年 3 月に報告することとなった。
6. **2006 年度予算配分 (資料No.3-6)**
2006 年度の常置研究委員会の予算配分額が報告された。
7. **2006 年度国際交流振興基金援助事業申請について (資料No.3-7)**
標記について提案があれば期日までに申請いただくこととした。
8. **日本建築学会での地震防災研究 10 年の歩み報告 (資料No.3-8)**
「建築および都市の防災性向上に関する提言 (第 3 次提言)」を 1998 年 1 月に公表して 10 年間の特別研究を終了したうえで実現可能なもの、問題点の検証について報告された。
9. **2005 年度大会発表梗概の取り下げ・削除申請 (資料No.3-9)**
研究発表の梗概中に引用・参考文献の記載に重大な不備があり、著者の申し出のとおり当該梗概を「2005 年度日本建築学会大会学術講演梗概集」から削除することが報告された。
10. **2005 年度特別研究委員会テーマ選考結果 (資料 No.3-10)**
標記の選考結果が報告された。
11. **小委員会活動成果報告提出依頼 (資料No.3-11)**
学術推進委員会から標記の提出依頼があり、各小委員会主査には事務局から改めて依頼する旨、報告があった。
12. **研究助成候補の推薦 (鹿島学術振興財団研究助成) (資料No.3-12)**
2005 年度鹿島学術振興財団研究助成の候補者が報告された。
13. **2006 年度委員会活動計画案・刊行企画・催し物企画 (案) (資料No.3-13)**
次年度の各小委員会活動計画案、今後の刊行企画、催し物等の計画案が報告された。
14. **予算執行状況 (資料No.3-14)**

2005年度予算の執行状況が報告された。

II. 審議事項

1. 2006年度大会関係

(1). 大会準備日程（案）（資料No.3-15）

事務局より標記日程案の報告があった。

(2). 学術講演会研究発表梗概募集要領（資料No.3-16）

標記募集要領について細分類・細々分類について確認した。

(3). オーガナイズドセッションテーマ（資料No.3-17）

火災耐力設計小委員会から標記テーマの提案があり確認した。

(4). 研究集会の企画案（資料No.3-18）

2006年度大会の研究協議会の企画案「(仮称) 高層ビル火災の今日的課題」があり学術推進委員会へ提出することが承認された。建築雑誌の掲載する執筆者は上原幹事がまとめることとなった。

2. 2006年日本建築学会大賞業績候補の推薦（資料No.3-19）

2006年日本建築学会大賞業績候補に斎藤 光君を推薦することが承認された。候補功績理由書は上杉委員にお願いすることとした。

3. 2006年日本建築学会文化賞候補業績の推薦（資料No.3-20）

長谷見委員から木下 孝一氏（伝統木造の技術的特質への洞察を踏まえた現代的数寄屋建築の創作と京町家の構造・防災性能の再評価を主導した功績）を推薦することが提案され承認した。候補業績推薦書は長谷見委員にお願いすることとした。

4. 2007年学会賞選考委員会委員（論文部会）候補の推薦（資料No.3-21）

標記について室崎委員長を推薦することが承認された。

5. 2007年日本建築学会奨励賞選考委員会委員候補の推薦（資料No.3-22）

標記について推薦はしないこととした。

6. シンポジウムについて（資料No.3-23）

1月23日に開催予定の「防火技術者は日本ではどうあるべきか？」の内容が報告され、各委員へ参加のお願いがされた。

次回委員会：2006年2月16日（木）15時